

まつしま

議会だより

第164号

令和7年11月1日発行
宮城県松島町議会



中体連東北大会で活躍！柔道と水泳で

- ◇ 令和6年度決算概要 P 2
- ◇ 各課に問う 決算審査特別委員会 P 6
- ◇ 議案審議 P14
- ◇ 6人の議員が熱弁（一般質問） P18
- ◇ 町民の声 P28

令和7年
第3回 定例会
[9月2日～9月17日]

一般会計歳入歳出決算額

歳入決算額 (万円未満は切り捨て)			歳出決算額 (万円未満は切り捨て)		
款	収入済額	割合	款	支出済額	割合
町税	17億5,264万円	24.14%	民生費	21億9,856万円	31.68%
繰入金	6億9,397万円	9.56%	総務費	14億6,064万円	21.05%
繰越金	1億1,470万円	1.58%	災害復旧費	1,550万円	0.22%
諸収入	2億1,163万円	2.91%	土木費	7億9,223万円	11.42%
財産収入・寄附金	1億1,740万円	1.62%	公債費	5億0,881万円	7.33%
使用料及び手数料	8,216万円	1.13%	教育費	5億8,894万円	8.49%
分担金及び負担金	1,081万円	0.15%	衛生費	5億4,058万円	7.79%
地方交付税	22億0,998万円	30.44%	消防費	2億8,605万円	4.12%
国庫支出金	8億3,187万円	11.46%	商工費	1億8,703万円	2.70%
県支出金	3億7,658万円	5.19%	農林水産業費	1億9,620万円	2.83%
町債	3億1,225万円	4.30%	議会費・労働費	1億6,427万円	2.37%
地方譲与税等	5億4,653万円	7.52%	合計	69億3,887万円	100.00%
合計	72億6,057万円	100.00%			

決算

各特別会計歳入歳出決算額 (万円未満は切り捨て)		
会計名	歳入	歳出
国民健康保険	16億3,966万円	16億2,216万円
後期高齢者医療	2億5,819万円	2億5,705万円
介護保険	21億0,092万円	20億4,343万円
介護サービス	972万円	972万円
観瀾亭等	1億3,014万円	1億1,993万円

水道事業会計収支決算額 (万円未満は切り捨て)		
区分	収入	支出
収益的収支	5億7,964万円	5億7,093万円
資本的収支	270万円	1億2,565万円

※水道事業会計の資本的収支に不足する額1億2,295万円は、過年度分損益勘定留保資金等で補填されました。

下水道事業会計収支決算額 (万円未満は切り捨て)		
区分	収入	支出
収益的収支	10億4,712万円	9億8,058万円
資本的収支	2億8,703万円	4億5,352万円

※下水道事業会計の資本的収支に不足する額1億6,649万円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填されました。

一般会計歳入歳出決算

特別会計・水道事業会計・下水道事業会計
歳入歳出決算

決算収支は「黒字」になり、3億2,170万円（余剰金）は、令和6年度繰越事業1億2,273万円と財政調整基金の積立1億2,000万円に使われ、残りは令和7年度一般会計予算へ繰り越されます。

各特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の決算収支も一般会計と同様に「黒字」になりました。特別会計は、国民健康保険特別会計など5会計があります。決算収支は、5会計の合計で8,634万円（余剰金）となりました。

水道事業会計の資本的収支に不足する額は過年度分損益勘定留保資金等で、下水道事業会計の資本的収支に不足する額は当年度分損益勘定留保資金等で補填がされていますが、どちらも財政比率分析においては、おおむね安定した経営になっています。



菅野 隆二
議員

町の財政状況について

問 経常収支比率が上昇した理由と弾力的財源の確保についての考えは。

町長 主な要因は人件費の増加である。また、扶助費や公債費などの経常的支出も増加したことが要因だ。
副町長 税収は横ばいで伸びが期待できない。歳入面では、使用料の見直しが最初の手段になる可能性がある。歳出面では支出を抑える工夫が必要である。

問 財政調整基金の残高についての見解は。

副町長 災害などを考えると最低でも10億円の基金が必要と考えており、令和7年度から9年度は厳しい財政運営が続く見込みである。

ふるさと納税について

問 クラウドファンディング型ふるさと納税の導入は。

副町長 現時点では具体的な事業への導入は未定である。議会からの

提案もあり、今後の検討課題として取り組む予定である。

人口減少対策について

問 移住者の受け入れ先としてマンション誘致に取り組む考えは。

町長 町内全域に高さ制限があり、容積率や景観など複合的な制約により採算が合わないとの理由で難しい。

職場環境の整備について

問 職場環境改善として窓口受付時間の見直しや時差出勤の導入についての考えは。

総務課長 衛生委員会でも意見があり、他市町村の事例を参考に検討中である。来庁状況やコンビニ交付の利用率も踏まえて対応を進めたい。

議会の動画配信について

問 議会動画配信の検討状況と現在の進捗は。

副町長 議会や庁舎の在り方の議論の中で動画配信も話題になっている。機器の整備を進めながら議会と協議の上、検討を進めていく。

その他、次の質問をした。

- ・ハラスメント防止について
- ・定住促進事業について
- ・空き家バンクについて
- ・障害者の雇用について
- ・道路環境維持について



赤間 幸夫
議員

決算と財政運営について

問 令和6年度決算数値、特に監査意見書における普通会計財政分析指標の推移、自主財源・依存財源並びに一般財源・特定財源の5か年にわたる決算状況の推移などから、町長は決算と今後の財政運営に對し、どのように認識しているのか。

町長 4年度に公共料金など使用料の見直しをしないと大変なことになると知らせたが、議会からは理解が得られなかった。5年度、6年度の決算額は、大体同額で推移している。6年度決算は一般財源も限りがあり、税収、交付税等の増額が見込めない中でのやりくりとなると、厳しいところに来ている。

財政調整基金の約4億円の減額は、東日本大震災の交付金未使用分の返還が大きく、令和8年度予算編成は、

公共料金見直し等を加味した柔軟な対応になる。

副町長 公共施設等の整備に際し、起債である過疎債は、返済に交付税算入や高い充当率適用が魅力であるが借金である。過疎地指定から抜けるには、財政力指数の改善等様々な面で努力していかなければならない。

問 過疎地指定脱却の為には、財政計画に基づいた安定的な財政運営と事業の進捗に合わせたローリング、土地開発基金や庁舎建設基金等の基金見直しと普通財産の整理が必要ではないのか。

副町長 震災がありコロナがあった景気対策と、そういう中で歳入が伸びていない。財政計画の信憑性を得る点で、不確定要素が多くどうなのか。内部でいろいろ調整して、出す方向で努力している。

その他、次の質問をした。

- 根廻・初原線道路整備事業の進捗と宮城県道路公社による松島大郷インターチェンジ整備事業とのスケジュール調整、区画整理事業地内の都市計画街路整備事業、事業認可終了及び施設利用の供用開始について



小澤 陽子
議員

自然治癒力を高める対策を

問 子どもたちの医療費が増えている。子どもたちが病気になる以前に、自然治癒力や、免疫力を高めるような対策を講じているのか。

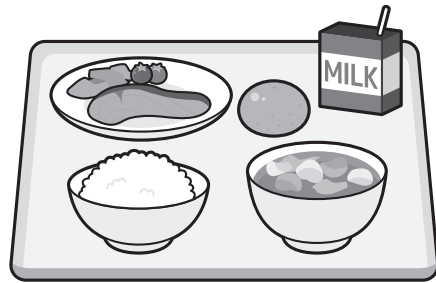
また、栄養教諭による食生活指導の成果は。

教育次長兼課長

自然治癒力は、

子どもたちが規則正しい生活により高める事ができ、その結果病気になるリスクを減らすので、学校保健協議会からの指導を元に、規則正しい生活を養護教諭が指導し、今後も重点的に取り組んでいく。

食生活の面は、データで肥満傾向の子どもが多いため、学校給食センターの栄養教諭により、幼、小、中と指導徹底を行っている。引き続き



バランスの取れた食事、食生活を継続していく。

今期の成果は、数値上表れてはいないが、今回、子どもたちに自ら給食のメニューを考えてもらう取り組みを実施した。食事に関する関心を高める工夫等新たな取り組みをしながら今後も波及させていきたい。

町民の願いについて



片山 正弘
議員

問 町長は、就任3期目であり常に町民の声を大切にし、町政に反映されるよう努力をしているが、決算を踏まえて、町民が望んでいることをどのように考えているか。

町長 町民全ての方々と面談をしていないが、各種団体や行政区長会等に相対的に話を聞いている。常に取り組む姿勢は今も変わらず注視して物事を見ている。

マンホールの絵柄について

問 松島町は、日本三景であり、瑞巖寺や五大堂を中心とした町だと思っている。昔、下水道を整備する過程で、マンホールの蓋に五大堂の絵柄が使用されたが、後に相応しくないと指摘があり、町章に変えた。だが、今も一部の地区で使用されているが、どう思うか。

水道事業所長

最初は五大堂の絵柄が使用されていたが、相応しくないので交換したと聞いていた。再度確認して交換していきたい。

勤労青少年ホームの役割について

問 「勤労青少年ホーム」との名称が今の時代に相応しいのか。当時は、勤労する青少年のための慰勞施設として建設されたが、今は当時の目的とかけ離れた使用になってはいないか。

町長 勤労青少年ホームの改修等があった、時代に合った施設利用経過だと思う。また、名称も含めて考えたい。

決算審査特別委員会 現地調査

9月8日に現地調査を行いました。

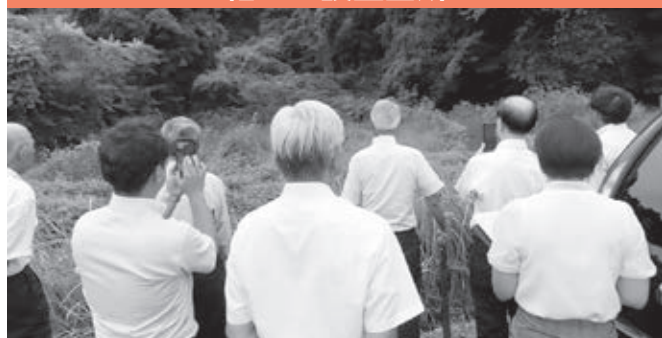
この他、松島第二小学校ではトイレ洋式化工事について確認しました。

防犯カメラ設置



松島第二小学校で説明を受ける様子

箱わな設置箇所



下竹谷地内に設置されている箱わなを確認

現地調査



区長との意見交換会

6月13日(金)に役場大会議室を会場にして、行政区長との意見交換会を行いました。

議会報告会に関する協議を議題にしたほか、地区が抱える問題について、意見交換を行いました。

手をつなぐ親の会

8月7日(木)に石田沢防災センターの会議室を会場にして、松島町手をつなぐ親の会との一般会議を行いました。

一般会議には、いるかの会も参加し、障がい児(者)の現状と課題について意見交換を行いました。

松島観光協会

8月26日(火)に役場大会議室を会場にして、(一社)松島観光協会との一般会議を行いました。

一般会議には、松島旅館組合も参加し、松島の観光を議題とし、宿泊税やインバウンドなどについて意見交換を行いました。

トピックス



一般会議

企画調整

問 企業版ふるさと納税の寄附額が単年度でも累計でも目標額に対して大幅なマイナスとなっている。今後の取り組みは。

企画調整課次長 企業が松島町を応援したくなるような主要プロジェクトが必要である。各課へもヒアリングをして庁舎一丸となり、魅力的なまちづくりに向けてのプロジェクト提案を目指す。

問 冊子は横書きがメインの場合、左綴じである。しかし、広報は右綴じになっており、読みづらいつと感じる。文字の大きさも含めてどう考えているのか。

企画調整課次長 これまでも同じ形式で発行している中で綴じ方や向き、文字の大きさに対しての苦情はないが、意見を踏まえて引き続き検討していく。

問 どんぐり松ちゃんを商標登録した狙いは。また、現在の活用状況と登録後の活用方法は。

企画調整課次長 主要なイベントにおいて結構な頻度で使用している。子ども版タウンミーティングでも使用した。今後は町としてだけでなく、幅広い形で様々な方に活用していただきたいという思いも込めて商標登録をした。

問 定住促進事業補助金を使って町外から7世帯18名の方が移住している。その方たちになぜ松島に住もうと思ったのかをしつかりヒアリングできているのか。

企画調整課次長 アンケートを実施している。実際に移住した方、数名にインタビューを行い、定住促進ガイドブックへも掲載している。

企業版ふるさと納税を活用した財源確保を

総務・環境防災

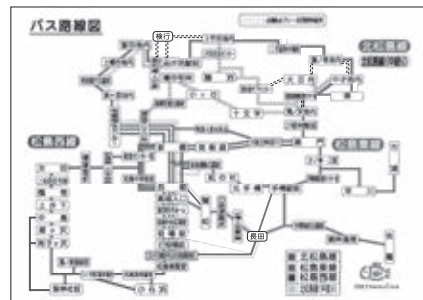
町営バス利用者に配慮した運行を

問 各行政区で町の広報等を配布している班長の災害補償保険の適用は。

総務課長 行政連絡員の下で業務中であることから、当町が名簿を受領し、承認する形であれば保険の対象になる。

問 町営バスのニーズ調査を踏まえた運行形態は。

環境防災班長 調査の結果をもとに、ルートやダイヤの見直しについて地域交通会議で承認を得たので、年度内中に運行する計画を立てている。



町営バス路線図

選挙管理委員会

問 期日前投票の際、筆記が困難な方への対応は。

選挙管理委員会事務局長 投票管理者が事前に2人の代理投票を行う者を選出している。投票者本人から、候補者が記載されている名簿に指さしをしていただき、代理人が記載して投函する対応をとっている。

各課に問う

産業観光

問 シルバー人材センター事業補助金増額の考えは。
産業観光課長 他の団体や事業との兼ね合いもあり、総合的に判断し増額は見送っている。事務費を含めた自主財源の確保やセンター運営の在り方など今後、話し合いを設ける。

抵抗性松の植樹状況は

問 まつの市について、年々出店が少なくなっている。もう少しにぎわいが必要と感ずるが、町の考えは。
産業振興班長 協議会を通じ、関係団体へ出店参加者の募集をかけている。生産物の収穫時期に合わせた開催など、今後も日程調整を含め、広く募集をかける。ながら、にぎわいの創出を考える。

問 現在、島々に対する抵抗性松の植樹作業状況は。
産業振興班長 県では、平成22年から約1,000本植樹している。松の苗が定着しない場所には常緑広葉樹を植樹し地ごしらえを行いながら、今後も抵抗性松の植樹をしていくと聞いている。

問 本町の観光客入込数は年々増加しているが、観光班としての具体的な取り組みは。
観光班長 東北6県や関東圏をターゲットにし、本町でゆっくり過ごしたい方々、富裕層や平日に宿泊していただける方々を誘致し、また、インバウンドにも対応している。

財務

ふるさと納税基金のあり方は

問 松島フットボールセンターの管理は宮城県サッカー協会へ移譲できないか。
財政班長 フットボールセンターはサッカー協会へ無償で貸し付けているが、敷地内にあるポンプ場の維持も含め、今後スポーツ振興及び地域振興を目的として管理していく。

問 入札監視委員会において具体的にどのような提言があったのか。
財政班長 積算のチェック体制を強化する、早めの発注を心掛ける、一者随意契約の場合は金額の妥当性を明確に説明できるようにする、単独工事の場合は予算額がそのまま予定価格と誤解されないよう工夫する、といった提言をいただいた。

問 返礼品カテゴリに新たに加わった「現地決済型」とは具体的にどのようなものか。
財政班長 QRコードを読み込んで寄附を申し込むとクーポンが発行され、各店舗においてすぐに使える。返礼品としては役務の提供という形をとっている。

問 ふるさと納税基金はただ貯めるだけでなく、各事業に積極的に充当してよいのでは。
財政班長 基金を塩漬けするつもりはないが、財政を緊縮する中でも、実施後の効果を見越しながら、真に必要な事業を選択した上で基金を充当している。

各種運営委員の出席率向上を

問 ソフトウェアの改修委託料は、随意契約か入札か。随意契約の場合の金額の妥当性をどう考えているか。

町民福祉課長 システムのリース期間やシステム自体の契約期間中は随意契約にせざるを得ない。事業者と契約する前に参考見積り等ももらい、近隣市町村と情報交換をしながら契約を検討している。

問 各種運営協議会の委員の中には協議会をすべて欠席している委員もいるが、選任に問題はないのか。

町民福祉課長 仕事が忙しくて来られない方もいるが、必ずしも固定の方が欠席しているわけではない。今後、日ごとの調整を図りながら出席率が上がるよう努力する。

問 生活保護を受給されている方には高齢者も多く今の暑さは大変だ。その方々のエアコンの設置率はどうなっているのか。

問 こども誰でも通園制度がスタートする。早急に高城保育所の施設拡充を図り、子どもたちを受け入れる体制が求められているのではないか。

町民福祉課長 エアコンの設置率は全てを把握していないが、エアコンも生活保護受給の対象になる方もいる。しかし、現行制度上認められない部分もあるので、全世帯が対象にならない。

町民福祉課長 始まっていないのでまだ分からないところがある。施設的に余裕がない状況なので、実際の利用状況を見ながら改善できるところは改善していきたい。

町民福祉

福祉事業の参加者拡大や若年層の取り組みを

問 老人クラブの高齢化が進んでいるが、新規加入の対策は。

高齢者支援班長 若い方で70代前半の状況である。消費生活や交通安全など、毎年テーマを変え魅力ある研修会を実施するなどの取り組みをしていきたい。

問 健康寿命延伸施策の中で、歯科保健事業の取り組みと成果は。

健康づくり班長 歯周病検診に関しては、昨年から、20歳、30歳の方にも拡大している。さらに今回第二小学校・第五小学校・希望園・松の実で、保健指導を行っており、少しずつ成果が出てきている。



問 第五小学校で思春期保健指導を行っているが、他の小学校から依頼は来ていないのか。また、指導内容は。

健康づくり班長 第五小学校以外から依頼は来ていない。令和7年度では、中学校でも、別の保健事業を取り組んでいる。指導内容は、たばこ、アルコール、ドラッグさらに最近はネット依存のことも特に力を入れて周知をしている。

健康長寿

各課に問う

建設

今後の支障木対応は

問 町内の支障木の除去についてどう考えているのか。

管理班長 支障木は、できるだけ早急に撤去するように努めていく。

対応している。要望されている地区等清掃が必要なものに対しては、解消する作業を実施予定である。

問 道路の管理について、道路の高低差が無くなり水はけが悪く、側溝の役目を果たしてないような状況にどう対応していくのか。

管理班長 地区からの要望により、現地確認をした上で

問 住宅使用料の未納者に対するアプローチは。
管理班長 根気強く交渉し、定期的に連絡を取り、計画的に納めるように相談に乗っている。

水道・下水道

未収金の対応は

問 公共下水道区域内、市街化区域周辺における合併浄化槽の設置の見込み件数は。

水道事業所長 50件ぐらいあり、広報等で周知し進めていく。

問 松島町水道事業会計決算審査意見書記載の未収金の内容は。

水道事業所長 閉栓手続をせず転出や転居する場合未収金が発生する。未収金が発生した場合は住所地に督促状を送付し、連絡を取りながら納

付の確約を得るなどの対応をしている。

問 水道料金の納入は、納税組合や役場窓口、コンビニによる納付、口座振替など様々であるが、各納付方法による納付率は何か。
経営班長 納付全体が約6万7,000件で、口座振替が4万7,300件、口座振替が全体の72%となっている。組合は13組合で、納付書納付が28%で、口座振替が72%となっている。

教育

学校給食費の今後は

問 児童生徒が利用するタブレットの修理状況と今後の見込みは。

学校教育班長 小学校で14台、中学校で17台を修理している。落下等での破損もあるが、5年目となり経年劣化も見られ、年々若干増加傾向にある。

問 学校給食について、物価が高騰しているが、今後、給食費値上げの考えは。

学校給食センター所長 現在、物価高騰対策分として、ふるさと納税基金を賄材料費に充当している。また、令和8年度以降、小学生の給食費無償化と国の方針が示され、今後は保護者の方の極端な負担増とならないよう必要に応じて、見直しを検討していきたい。

問 町史の在庫状況と購入方法は。

町史編さん室長 町史の残部については約30部あり、町史編さん室で管理している。教育委員会に来ていただければ売払いうるような形となっている。

問 町史について、子ども達に分かりやすいよう、簡易版を学校教育に生かしてみたい。

町史編さん室長 町史をしっかりと作ることを重視している。また、現在「わたしたちの松島」

という副読本を子ども達に配っており、改訂の時期に合わせ、町史を組み込んで改良していく。

問 アトレ・る大ホールでの長時間の催物でも快適に過ごせるよう、空調設備の調整が必要では。
中央公民館長 多少整備不良になっていた部分もあった。今後、点検整備を重ね改良できるよう努めたい。

監査委員決算審査報告

総括報告

令和6年度松島町の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算、基金運用状況、水道事業会計決算、下水道事業会計決算を監査基準に基づき監査したところ、おおむね適正であると認める。

決算審査における会計別の主な意見等は、次のとおりである。

一般会計

前年度に比べ、歳入で1,223万円、歳出で



丹野和男代表 (左) 後藤良郎議選 (右) 両監査委員

6,923万円、それぞれ減少している。当初から予定した事務事業はおおむね完了している。前年から繰り越した事業については、根廻・初原線道路整備事業は協議に時間を要したため一部事故繰越となっているが、物価高騰対応重点支援給付金事業費(第二号)などは完了している。

追加となった定額減税補足給付金事業、物価高騰対応重点支援地方創生事業、衆議院議員総選挙事務、児童手当等支給事務などにも適切に対応し、経常的事務が滞ることなく関係機関と連携し、迅速に住民サービスに努めている。

今後も町は、「活力あるまち・松島」の実現を目指し、なお一層住民に寄り添った行政サービスを望む。

国民健康保険特別会計

国保加入状況は、前年度に比べ減少となった。データヘルス計画に基づく保健事業に引き続き取り組み、保険者として被保険者の健康意識を高めるとともに、医療費の適正化に努め、保険基盤制度運営の安定を図りたい。

後期高齢者医療特別会計

前年度比で加入者数は増加した。今後も増加傾向が見込まれることから、制度を運営する広域連合と連携し、安定した運営に努められたい。

介護保険特別会計

当年度末の要介護等認定者実人数は、前年度比で減少した。介護の支え手の減少と超高齢化の中で、地域包括ケアシステムの取り組みを強化し、介護

観瀾亭等特別会計

保険基盤の安定に努められたい。

来客数は、前年度比で増加している。町や観光協会等で企画するイベントなど、安定的に誘客ができるよう、町内事業者の活性化と国内外の観光客が、安全で安心できる観光地の確保と多様化する顧客ニーズの情報収集や地元資源を活用した取り組みなど、地域をはじめとする商工会、観光協会等と連携して情報発信等に努められたい。

水道事業会計

おおむね安定した経営となっている。令和6年度は、おおむね計画どおり配水管布設替工事及び配水管布設替実施設計業務並びに繰越した水道施設整備基本計画策定業務を完成している。

国道346号配水管移設工事については、次年度への繰り越しとなっている。

下水道事業会計

今後も経営収支が安定し、低廉で安全な水道供給が図られることを望む。

おおむね安定した経営となっている。令和6年度は、ストックマネジメント計画策定等業務委託、未整備地域の下水道布設等工事を実施している。

今後は、管渠及びポンプ場施設の老朽化による更新需要の増や人口減少等により、経営環境はさらに厳しさを増していくことが予想される。今後も、資金計画に留意するとともに、公営企業としての経営の合理化に取り組み、効率的な運営を期待する。

財政健全化判断比率及び資金不足比率

令和6年度決算における各指標の比率は、早期健全化基準及び経営健全化基準を下回り、基準内であった。各指標の比率は、左表のとおり。

町の財政状況は基準内です

財政健全化判断比率 (普通会計) (単位: %)

指標の名称	松島町の健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	15.00
連結実質赤字比率	-	20.00
実質公債費比率	7.6	25.00
将来負担比率	6.7	350.00

資金不足比率 (公営企業会計) (単位: %)

会計の名称	松島町の資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.00
下水道事業会計	-	20.00
観瀾亭等特別会計	-	20.00

※財政健全化判断比率、資金不足比率の「-」と表示されている各比率は基準以下であることを示します

一般会計

反対

今野 章 議員

賛成

櫻井 靖 議員

全行政分野でマイナナンバー情報の連携が可能となり、プライバシー侵害の危険性が高まった。企業版ふるさと納税は、3年間で11億円の寄附を見込んだが目標には程遠く、事業や財政に影響を及ぼす。ハラスメントは業務遂行や町民サービス、社会的評価でも損失になり、対策を講じられない。土地開発基金2億2,700万円の有効活用を。シルバー人材センターの補助金を限度額まで増額をすべきである。令和8年度に「こども誰でも通園制度」が始まるが、受け入れ体制や施設の拡充が進んでいない。熱中症対策としてエアコン設置は喫緊の課題で、高齢者世帯や生活保護世帯への支援を行うべき。町の経済活性化と事業者育成へ、リフォーム助成制度を継続して行うよう求めたい。食料生産を担う農業は危機的な状況だが、それに見合った予算措置がない。

物価高に対応しながら、限られた予算の中で様々な施策をまかなわなければならず、現在の状況では、今以上の行政サービスを望んでもすべて実現することは難しい。

そんな中で今ある行政サービスを減らすことなく持続していることは大いに評価すべきと考える。

また、子どもたちの給食費については、食料品がドンドン値上がりしているさなかだが、当面の間は、ふるさと納税を活用しながら値上げをしないうという回答があった。給食費の無償化とはいかないが、町としての努力を強く感じる。

今回の決算において大きな変化、大きな成果は読み取ることができないが、地道な努力の上の地道な成果を感じる。

今後もこの地道な努力を継続して、いつか小粒でもしっかりとした町を支える果実がなることを期待して賛成討論とする。

後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章 議員

賛成

桜井ていこ 議員

健康保険証を廃止し、マイナ保険証への一本化が事実上強制されたが、保険証に替わる資格証の交付が決まった。結局、保険証を廃止しなければ、町の事務事業の負担も利用者や病院などでの混乱も回避できなかったのではない。

令和6年度から7年度の保険料の値上げ、また窓口負担2割の世帯への配慮措置が今年9月で終了。令和8年度からは、少子化対策の財源確保の名で、保険料に財源の上乗せを行うなど、物価高騰と実質的な年金削減の中で、高齢者に負担増と痛みを押し付けている。

高齢になればいくつかの病気を抱えながら毎日の生活を送るのは当たり前。負担を強化することによって受診抑制を行い、予算の削減を図る。これは高齢者の命を削ることにも等しい。高齢者が安心して医療を受けられる医療保険制度を構築すべきである。

令和6年度から現役世代の負担軽減を目的として、後期高齢者の保険料と現役世代の支援金の伸び率が同じになるよう、後期高齢者の保険料負担率の引き上げや、出産、育児一時金に要する費用の一部を後期高齢者の保険料から支援する仕組みを導入され、令和8年度から新たに子ども・子育て支援金制度の導入を決定されたものである。

令和7年には団塊の世代がすべて後期高齢者となり、被保険者数の急増による保険給付にかかる経費の一層の増加が見込まれる。

被保険者が安心して医療を受け入れられる体制を維持することが必要である。

当町では、市町村助成事業として健康体操教室や水中運動教室を継続開催し、後期高齢者医療広域連合と連携して、健康寿命の延伸の施策を取り組んでいることを評価して、賛成討論とする。

介護保険特別会計

反対

今野 章 議員

賛成

高橋 利典 議員

介護保険料は前期計画と比較し基準額で200円の引き下げとなったが、一方で所得段階の多段階化による負担増も。保険料は、介護保険制度が始まった当時の2倍以上になっている。

今年、介護保険制度が始まって25年。「家族で担う介護」から「社会全体で担う介護」へと位置づけられ進んできたが、「制度の持続可能性」の名のもとに保険料の値上げや給付の削減で、利用者やその家族の負担が増大している。

また介護報酬の改定・削減で、介護事業者の倒産、休業など過去最多に。本町の介護事業所でも経営が厳しいと推測できる。

さらにケア労働者の給料は全産業平均より月額7万円も低い。訪問介護は在宅生活を支える基本的なサービスであり、介護報酬の抜本的な見直しでケア労働者の処遇改善を図るべきである。

後期高齢者が増加傾向にあることから要介護認定率も年々増加し、介護サービスは高齢者の生活を支える重要な社会資源となっている。

持続可能な介護保険制度運営を図るため、公正な要介護認定、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施している。

介護予防ケアマネジメント事業では介護予防・日常生活支援サービス事業を利用する事業者及び要支援認定者に対し、ケアマネジメントを行い心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図っている。介護予防普及啓発事業では北部地区の町民を対象に介護予防と買い物支援事業を実施し介護予防へ繋がるよう支援を行った。

介護保険事業は第9期介護保険事業計画に基づき事業運営を適正に遂行されたと認める。今後も相談体制、サービス基盤の整備制度の周知を願って賛成の討論とする。

議会は進言する

町への意見・要望

〔企画調整課所管〕

○企業版ふるさと納税について

本町の寄附額は目標額を下回っている。予算未達の要因を分析し、その具体的対策を立てて、引き続き目標達成に向けて最大限尽力されたい。

○定住促進について

本町の定住促進補助事業は大変好評である。しかし、申請受付を開始してから短期間で予算額に達するのが現状であり、予算額の見直しを含め、本町に移り住みたい世帯にとって費用負担がより軽減されるような取り組みを望む。

〔町民福祉課所管〕

○民生委員児童委員について

12月の一斉改選に向けて定数を削減するものの、未だに推薦者が決まらない地区がある。引き続き町は業務内容を説明するなど、定数充足を目指して鋭意努力されたい。

○高城保育所について

来年度から子ども・子育て支援法に基づく「こども誰でも通園制度」が実施される。制度利用の急増に備え、職員の採用や保育スペースの拡充等を視野に入れた体制づくりを望む。

〔産業観光課所管〕

○シルバー人材センター補助金事業について

本事業はこれまで高齢者の就労を促進してきたが、近年は物価高騰等の影響により、シルバー人材センターの収支状況は極めて悪化している。万が一でも運営が行き詰まる

と町全体に多大な支障が生じることから、本事業の補助金額が妥当なのか慎重に検討されたい。

〔建設課所管〕

○町道の維持管理等について

町内全域において、道路・側溝の清掃や除草、支障木伐採等の要望が年々増加している。危険ブロック塀等の除却事業と合わせて、先を見越した予算付けを望む。

〔共通事項〕

○各種審議会・委員会等の開催状況について

町が主催する各種審議会や委員会等の中には出席率が芳しくない会議がある。今後のまちづくり等の方向性を左右する重要な会議であるため、できるだけ欠席者が生じないよう図られたい。



令和6年度決算審査特別委員会
菅野隆二委員長

令和7年 第3回 定例会 提出議案 (9月議会)

議案提案第3号 松島町議会傍聴規則の一部改正について
傍聴人の守るべき事項等に関する改正

議案第43号 松島町立学校施設の開放に関する条例の制定について
体育館等の使用を有料化し、受益者負担の公平性と持続可能な施設運営を図るもの

議案第44号 松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
選挙運動における公費負担に要する経費に係る限度額の引上げに伴う所要の改正

議案第45号 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立支援の拡充に関する所要の改正

議案第46号 松島町町税条例の一部改正について
個人町民税の特定親族特別控除の創設、町たばこ税の税率の改正

議案第47号 松島町国民健康保険税条例の一部改正について
県が令和12年度からの国民健康保険税率の完全統一を目指すことを踏まえた税率の改正

議案第48号 松島町観光施設条例の一部改正について
観瀾亭等の料金体系の見直しに伴う所要の改正

議案第49号 松島町水道事業給水条例及び松島町下水道条例の一部改正について
令和7年5月及び7月の全員協議会において協議を進めてきた水道料金の改定を行うもの

議案第50号 令和7年度松島町一般会計補正予算(第3号)
地上デジタル放送用光ケーブル移設工事、小学校車椅子用階段昇降機の設置等による補正

議案第51号 令和7年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
国民健康保険賦課システムの改修に係る委託料及び財源である国庫補助金に関する補正

議案第52号 令和7年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
後期高齢者医療システムの改修に係る委託料及び財源である国庫補助金に関する補正

議案第53号 令和7年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)
令和6年度決算に伴う繰越金及び一般会計繰出金に関する補正

議案第54号 令和7年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)
令和6年度決算に伴う繰越金及び財政調整基金繰入金に関する補正

議案第55号 令和7年度松島町水道事業会計補正予算(第2号)
公用車に設置されているカーナビゲーションの受信料に関する補正

令和6年度各種会計決算認定

- 議案第56号 令和6年度松島町一般会計歳入歳出決算認定
- 議案第57号 令和6年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第58号 令和6年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第59号 令和6年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第60号 令和6年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第61号 令和6年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定
- 議案第62号 令和6年度松島町水道事業会計決算認定
- 議案第63号 令和6年度松島町下水道事業会計決算認定
- 報告第4号 令和6年度松島町健全化判断比率について
- 報告第5号 令和6年度松島町資金不足比率について

令和7年 第2回 臨時会 提出議案 (7月18日)

議案第42号 令和7年度松島町一般会計補正予算(第2号)
児童館遊具設置事業及び子育て世帯生活支援給付金事業による補正

議案 審議

物価高騰等により 無料で開放してきた松島町立学校施設の 使用を有料化

松島町立学校施設の開放に
関する条例の制定について

質疑

櫻井靖議員 学校の体育館等
を使用する際、減免団体はど
のくらいあるのか。また、照
明に関しての減免は。

教育次長兼課長 17団体が登
録している。そのうち12団体
が10割の減免、5団体が5割
の減免で、減免にならない団
体の登録はない。

また、照明代については減
免対象外である。
※その他、中島一都議員・米
川修司議員より質問があっ
た。

賛成全員・可決

松島町議会議員及び松島町
長の選挙における選挙運動
の公費負担に関する条例の
一部改正について

質疑

今野章議員 今回の改正は、
ポスターの公費負担である。
今様々な物価が上がっている

ので、ポスターだけではなく、
その他の部分の公費負担につ
いても本来値上げが必要だっ
たのでは。

選挙管理委員会事務局長 今
回の改正は、ピラとポスターで
ある。選挙カーに関しては、
改正の対象になっていない。
他の改正について情報は入っ
ていない。

賛成全員・可決

**職員の育児休業等に関する
条例及び職員の勤務時間、
休暇等に関する条例の一部
改正について**

質疑

赤間幸夫議員 年休等を活用
しないで、勤務時間内にも部
分休業を取得できる改正でい
いのか。

総務課長 柔軟に働き方を
選択できるような意味での改
正である。部分休業の場合は、
給料が1時間単位で計算され
差し引かれるので、年休とは
異なる。

賛成全員・可決

松島町国民健康保険税条例
の一部改正について

質疑

今野章議員 松島町国民健
康保険条例改正で保険料統
一を目指し、所得割・均等割・
平等割が引き上げられる。負
担率上昇が町民生活に与える
影響が懸念されるが。

町民福祉課長 負担率上昇は
避けられず、住民への負担増
に配慮しつつもご理解をいた
だきたい。

町長 負担軽減と町民状況を
考慮し、今回の改定について
は値上げではなく「1万円を
戻す」形と捉えて、急激な負
担増を避け、段階的な調整を
行っている。

赤間幸夫議員 国保税統
一は令和12年度完全実施を予
定しているが、自治体の裁量
で、必ずしも令和8年4月1
日実施に固執する必要性があ
るか。

町長 国民健康保険税統一に
は高額自治体の負担調整が課

題で、段階的調整が必要。令
和12年全国統一へ首長の意見
集約と協議を重ね進める。

討論

反対討論 今野章議員
現行改正案は構造的な問題の
解決に至っておらず、国保税
体系の見直しが必要であると
考えて反対すべきである。

賛成討論 米川修司議員
本町では現在低水準の税額
を県方針に基づき見直し、負
担軽減を考慮し1万円引上げ
にとどめた。必要な医療サー
ビス維持のためやむを得ない
措置である。

賛成多数・可決

観光施設条例の一部改正に
ついて

質疑

菅野隆一議員 入場料の値
上げを財源に、博物館の充実
など、松島海岸の誘客施策の
考えは。

産業観光課長 魅力ある観光

向上に努力する観瀾亭は、これまで地震や海風にさらされておられ、文化財の保護も兼ねて、計画的に効率的に支出していく。

櫻井靖議員 宿泊者に施設の料金の割引サービスをする考えは。

産業観光課長 50万人の宿泊者に対して割引をするとき大きな金額となるので、慎重に考えて対応する。

※その他、中島一都議員・高橋利典議員・桜井ていこ議員・小澤陽子議員より質問があった。

賛成全員・可決

松島町水道事業給水条例及び松島町下水道条例の一部改正について

質疑

櫻井靖議員 今回の値上げに関してどのような広報をしていくのか。

水道事業所長 広報まつしま、ホームページ等で周知してい

く。広報は、8月・11月・2月号で掲載して周知を図る予定である。

今野章議員 水道料金の値上げが避けられないことを理解しつつも、値上げを抑える方法や、配水池の見直し、設備投資の適正化、広域水道の受水体制の再検討をすべきでは。

水道事業所長 配水池は受水圧や配水圧の調整、大口需要、需要変動に対応するため必要であり、契約水量は5年ごとに見直し、将来的な需要や緊急時でも考慮し現状の2系統体制を維持している。

※その他、小澤陽子議員より質問があった。

討論

反対討論 今野章議員

水道は不可欠な社会インフラであるとの認識を持ちつつ、人口減少や物価高騰、施設の老朽化により水道料金値上げは避けられない状況である。しかし、町民生活への負担増を懸念し、一般会計からの繰り入れによる値上げ圧縮や先延ばしが必要とし、条例制定

に反対する。

賛成討論 小澤陽子議員
水道管老朽化や水質保全のため、料金値上げはやむを得ず、将来の持続的運営と新たな政策も必要である。
賛成多数・可決

第2回臨時会 令和7年7月18日

児童館に新しい 遊具を設置

令和7年度松島町一般会計補正予算（第3号）

質疑

○町村地域活性化促進等助成金交付事業 330万円

櫻井靖議員 児童館の園庭はさほど広いものではない。新しい遊具を設置した場合、子どもたちが走り回るスペースが確保できているのか。

町民福祉課長 破損している

遊具の撤去を完了しているもので、新たに遊具を設置しても子ども達が遊ぶスペースは十分ある。

菅野隆一議員 イメージ図を見たが、この遊具を選定した理由と費用の内訳は。

町民福祉課長 児童館職員と協議し、アスレチック系の遊具がいいという意見があったため、図の遊具を検討している。内訳は遊具本体と設置工事に係る経費で半々ぐらいになっている。

小澤陽子議員 遊具の設置に係る工事の期間や時間帯は。

町民福祉課長 期間については今後の入札後十分長い期間を取っていきたい。時間帯は、子どもが学校に行っている時間など児童館の利用者数が比較的少ない時間を予定している。

赤間幸夫議員 遊具を設置した後、子どもたちが落下した場合の緩衝材として砂場を設置する考えはないのか。

町民福祉課長 特に砂場にすることを考えはないが、安全な領域を確保し安全基準を遵守していく。

米川修司議員 町村地域づくり振興等調整金交付事業について、採択の要件、申請の実績は。

町長 宝くじ協会から県の町村会を通じて各自自治体に交付される。前回は仙台空港の通路に、松島をPRするポスターを掲示した。来年以降も続くよう県の町村会にお願いしていきたい。

賛成全員・可決



イメージ図

公用車カーナビにもNHK受信料が！ 補正予算でさかのぼって対応

補正予算

令和7年度松島町一般会計補正予算(第3号)

質疑

○小学校特別支援教育環境整備事業
442万4千円

櫻井靖議員 車椅子用昇降機を使う際、珍しさもあり子ども達が寄つてくることが懸念される。事故の防御策は。

教育次長兼課長 いたずら防止も含め子ども達への指導を徹底し、教員が最善の注意を払いながら周囲に注意を払って運用していく。



車椅子用階段昇降機(イメージ)

米川修司議員 車椅子用昇降機を1基設置するだけで、高額な費用がかかる。一般財源で全額負担だが、他市町の事例などでも国、県からの補助はないのか。

教育次長兼課長 学校施設の安全関係の補助金はあるが、その場合据付けという条件があり、備品購入に対する補助は対象外となっている。

○テレビ受信料
67万7千円

菅野隆一議員 公用車のカーナビのテレビNHK受信料は免除されないのか。

財務課長 減額できるか交渉している自治体もあるが、放送法第64条のテレビ受信が可能な状況である場合という前提がある

補正予算

る限り、支払い義務がある。

○光ケーブル移設工事費
200万円

赤間幸夫議員 地上デジタル放送無線共聴施設管理費の工事請負費だが、なぜ光ケーブル会社が負担するのではなく、町で負担しなければならないのか。

建設課長 難視聴地域解消のための補助金を町がもらって設備を整備した経緯があり、町が維持管理を行っている。

高橋幸彦議員 撤去した光ケーブルは廃棄処分となるのか。その場合工事請負費に廃棄処分費も含まれているのか。

建設課長 中にガラスが入っている特殊なケーブルなので専門業者に依頼し廃棄処分となり、廃棄処分費も工事請負費に含まれている。
賛成全員・可決

令和7年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

質疑

今野章議員 子ども・子育て支援事業補助金でシステム改修業務委託料とあるがどのような改修がされるのか。

町民福祉課長 令和8年度から子ども・子育て支援金が各保険料に上乘せになる制度に対応するための税額の計算などのシステム改修になっている。

討論

反対討論 今野章議員 子育て支援に係る財源を、社会保障費に押しつける形となる。社会保障費で賄うというのではなく、国費によって保障されていくべきものである。極めて逆進性が高く、低所得者が一番負担が重くなることから反対である。

賛成討論 米川修司議員 国民健康保険料の増額といたった補正ではない、あくまで来年度の制度改正のための準備に係る補正である。加えて、国民健康保

険の制度自体をこれから維持することに寄与するものであることから賛成である。
賛成多数・可決

令和7年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

質疑

赤間幸夫議員 令和8年度から始まる子ども・子育て支援制度に対応するためということだが、なぜこのタイミングか。国からどのように案内・説明等を受けているのか。

討論

町民福祉課長 令和8年4月から保険料をいただくことになっているが、国のほうのスケジュール等々の指示の下、これを財源とした事業は、もう昨年度から始まっており、そのスケジュールにのっとりた内容になっている。

反対討論 今野章議員 前議案と同様の理由により反対である。

賛成討論 米川修司議員 前議案と同様の理由により賛成である。
賛成多数・可決

議案採決結果表

表の見方

①採決結果：賛成全員（可決または採択）→全
 賛成多数（可決または採択）→多
 賛成少数（否決または不採択）→否

②各議員の表決：賛成→○ 反対→×
 ③その他：欠席→欠
 退席（除斥を含む）→退
 議長→議

令和7年第3回定例会

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
議員提案第3号	松島町議会傍聴規則の一部改正について	9月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0	
議案第43号	松島町立学校施設の開放に関する条例の制定について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第44号	松島町議会議員及び松島町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第45号	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第46号	松島町町税条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第47号	松島町国民健康保険税条例の一部改正について		多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議	10	3	
議案第48号	松島町観光施設条例の一部改正について		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第49号	松島町水道事業給水条例及び松島町下水道条例の一部改正について		多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	12	1	
議案第50号	令和7年度松島町一般会計補正予算（第3号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第51号	令和7年度松島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議	10	3	
議案第52号	令和7年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	議	10	3	
議案第53号	令和7年度松島町介護保険特別会計補正予算（第2号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第54号	令和7年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算（第2号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第55号	令和7年度松島町水道事業会計補正予算（第2号）		全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0
議案第56号	令和6年度松島町一般会計歳入歳出決算認定について		9月17日	多	欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	○	議	9	2
議案第57号	令和6年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	11	0
議案第58号	令和6年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	多		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	○	議	9	2	
議案第59号	令和6年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	多		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×	○	○	議	9	2	
議案第60号	令和6年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	全		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	11	0
議案第61号	令和6年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定について	全		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	11	0
議案第62号	令和6年度松島町水道事業会計決算認定について	全		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	11	0
議案第63号	令和6年度松島町下水道事業会計決算認定について	全		欠	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	11	0

令和7年第2回臨時会（7月18日）

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	菅野隆二	米川修司	櫻井靖	桜井ていこ	中島一都	後藤良郎	赤間幸夫	高橋幸彦	阿部幸夫	今野章	小澤陽子	片山正弘	高橋利典	色川晴夫	賛成	反対	
議案第42号	令和7年度松島町一般会計補正予算（第2号）	7月18日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	13	0

採決表



かのりのりゅうじ 菅野隆二 議員

問 松島町の出生数・婚姻数の現状をどのように捉えているのか

答 町の発展を目指す上で危機的状況であると認識している

問 出生数・婚姻数の現状をどのように捉えているのか。

町長 令和6年度の出生数は39人、婚姻数については、町民の婚姻数に把握できていないが、松島町へ婚姻の届出をした件数は135件であった。10年前と比較するとどちらも3分の2に減少しており、人口減少を抑制し、町の発展を目指す上で危機的状況であると認識している。

問 仙台市が分娩費用の平均を58万6,000円と推計し、国の出産育児一時金50万円との差額9万円を独自で上乗せ助成する方針である。松島町でも同様の助成がでないか。

町長 現段階で町としてベストな支援ができていないと考えている。さらに充実させるため、新年度予算に反映できるように検討する。

問 婚姻促進に向けた具体的な取り組みとその効果は。

企画調整課長 婚姻後、新生活のために要した経費等を支援する新生活生活応援事業支援金（令和5年度1世帯10万円、令和6年度4世帯計39万6,000円）や結婚支援センター入会支援（令和5年度・6年度ともに1件1万円）を実施しており、今後も継続していく。

問 不妊治療の支援内容を体系的に整理し、分かりやすく提供するための情報発信が必要ではないか。

健康長寿課長 窓口で対応する職員も必死に勉強しなければ理解できないような複雑な制度となっている。今後はホームページやチラシの内容も分かりやすく整理・改善して周知を強化していく。

問 昨年8月に国が出生届のオンライン提出をスタートした。町として対応しているのか。

町民福祉課長 現在は対応していないが、社会の流れとしてオンライン化は進むと認識している。将来的には完全オンライン化を目指す。

問 宮城県内の24市町村で導入されている電子母子手帳アプリはメリットが大きいと思うが、導入の検討は。

健康長寿課長 2年後には母子手帳の電子化も予定されており、それに合わせて導入の検討を進めている。

問 災害発生時の妊産婦や乳幼児を優先的に受け入れる専用避難所または優先スペースの設置に関する考えは。

町長 災害時の避難所生活において、妊産婦や乳幼児に対しての何かしらの配慮が必要であると認識している。避難所における優先スペースの確保など対応していきたい。





よね かわしゅうじ
米川修司 議員

問 松島イノベーションヒルズと県道を結ぶルート の仮設道路整備も視野に入れた見直しは

答 本線をそのまま活用するか仮設道路を整備するか、様々な観点から慎重に検討していく

問 宮城県は松島町交通社会実験の結果について、「迂回路の道路機能に課題があることから、県道仙台松島線の機能強化に向けた取り組みを推進」と総括していたが、県がその推進に早急に取り組むべく、町は県に対してどのように働きかけているか。

町長 昨年度後半より県土木部との折衝を重ね、どのような路線が最適なのか具体的に検討する方向で詰めており、最近是他市町と手を組んで推進の機運を高めつつ、国も交えた話し合いをこれから進めていく。

問 本町に新たな産業拠点が誕生するのを機に、他の沿岸市町と手を取り合っており、鳴瀬奥松島ICと利府中IC間の通行無償化をあらためて県へ要望する考えはないか。

町長 三陸道無償化は他市町と一緒に何度か要望しており、年度初めには本町職員が毎年、県道路公社を訪ねて要望しているが、これから県が大型車両の通行量を調査するので、その結果を踏まえ現状を再度認識しながら取り組む。

問 根廻・初原線の道路工事において、初原側に関しては松島大郷ICの機能改善工事の影響で、新交差点の計画位置が現実的ではなくなっているが、町はその具体的な対策についてどのように考えているか。

町長 根廻側の進捗は心配していないが、初原側については町道金井神線の道路を拡幅することにより、県道仙台松島線に合流できるよう、あるいは大郷方面へ抜けられるよう検討している。



松島イノベーションヒルズ
企業立地ガイド表紙

問

「町制施行100周年 町民ふれあい盆踊り大会」を開催しては

答

夏祭りの開催形態は地域だけでなく、町のあり方にも関わる

問 盆踊り大会は各地区の重要な一大行事であるが、すでに高齢化等を理由に中止あるいは廃止せざるを得ない地区があることについて、町は現状をどのように認識しているか。

問 今後も各地区において盆踊り大会が開催されるのが望ましいが、無理を押しつけてまで地区毎に開催すべきとは言い難い。代替案として、全町内の参加希望者が町民グラウンドに一堂に会して、「町民ふれあい盆踊り大会」を開催する考えはないか。

教育長 本来は各分館が主催するものではないが、地域の文化や歴史を絶やさぬよう、教育委員会や各分館は盆踊りの趣旨を大切にしながら、今後も各地域で継続してもらいたい。



教育長 町民ふれあいスポーツ大会のように、どの地区でも開催していない行事であればいいが、盆踊り大会は今でも開催している地域があるので、今のところ考えていない。今でも残っている盆踊りが絶えることのないよう、仮に絶えても盆踊りの由来に立ち返り、地域の有志を中心に小規模でも復活するのが望ましいと考えている。

問 災害への対応について



おざわ ようこ 議員
小澤陽子

答 今後も粛々と訓練を続けていく

問 先日のカムチャッカ半島大地震の際、住民の命の危険を守るためどのような対応をしたのか。

危機管理監 沿岸の行政区へ避難指示等を行い、町内5カ所の避難所を開設し、避難所全体で最大586名の避難者を収容した。

問 避難所以外の状況と対応は。

危機管理監 自主避難場所は5カ所確認しており、物資や非常食は配布できなかった。避難場所に関しての適切な情報提供は検討が必要である。

問 避難所開設の周知方法は。

危機管理監 避難所開設状況をウェブサイトやテレビのテロップで周知した。もっと早い情報提供が必要であると反省している。

問 地区との連携で、新たな場所を開設する場合、本部と連絡が取れない場合も想定されるが地区にはどのような対応を求めているのか。

危機管理監 地区で運営するように、自主防災組織での訓練時に話をしている。

問 開設した避難所がいっぱいになった場合はどのような対応をする予定なのか。

危機管理監 施設に入れない場合は、避難施設を新たに開設し移送に関する予定である。

問 車で避難してくる方が多く、事故やトラブルが想定されるが、その対策は。

危機管理監 津波の避難は基本的には徒歩だが、避難所での車の混乱等は、交通誘導が今一番現実的ではないかと思う。

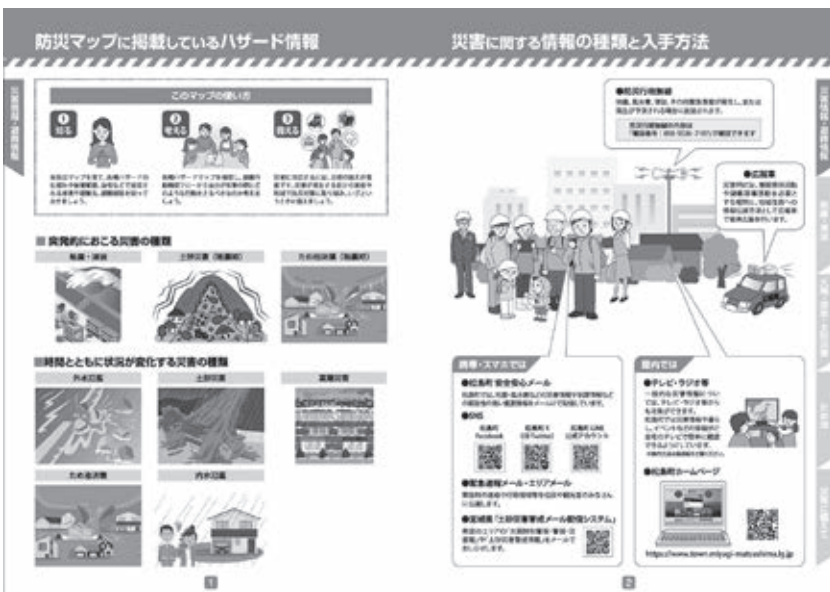
問 昨年の避難訓練時に宮城県民公式アプリ「ポケットサイン」のデモンストレーションをしたが、アプリは活用できたのか。

危機管理監 準備できなかった。今後職員の習熟や住民への周知を併せて図っていきたい。

問 今回の実際の避難に関して反省点、課題は。

危機管理監 今回は大きな混乱もなく避難行動ができたと思う。今後も地震・津波防災訓練を実施し、アプリの普及も重要かと思う。

その他、次の質問をした。
松島湾の松について



松島町総合防災マップより抜粋



さくら い やすし
櫻井 靖 議員

問 再犯防止推進計画の策定を

答 策定に向けて時期や内容を検討している

問 本町における再犯防止推進計画の作成についての進捗状況は。また、本計画は、地域福祉計画に包含してもいいとのことである。地域福祉計画の策定状況についても併せて伺う。

町民福祉課長 松島町においては再犯防止推進計画も地域福祉計画の策定も現在されていない状況である。地域福祉計画の策定に向けて時期や内容について検討している。来年度の予算に向け各部署と相談し実現できるように頑張っていくたい。



更生保護キャラクター
更生ペンギンのホゴちゃん

問 松島町として犯罪・非行の防止についてどのようなことを行っているか。

町民福祉課長 保護司会、更生保護女性会の方々と社会を明るくする運動を毎年実施し、啓発に取り組んでいる。
教育次長兼課長 教育関係では、警察や学校、民生児童委員等関係機関と連携して、犯罪や非行の情報共有、それから未然防止の取り組みを進めている。具体的には、生徒指導や教育相談、巡回や見守り活動のほか、インターネットやSNSに起因するトラブルへの対応について連携を図りながら取り組んでいる。

問

災害を教訓にさらなる防災・減災対策を

答

避難所の定員を超えそうときは安全な場所にバスを使って移送する

問 大津波警報などが発令され、想定を上回る人数が避難所に詰め寄せた場合の対応はどのように考えているか。

危機管理監 一緒の箇所に全部まとまってしまった際のすみ分けは必要だ。地域防災計画の見直しの時期になっているので考えていきたい。

危機管理監 今考えられる現実的な対応として、避難所の様子、状況を鑑みながら、収容定員を超えそうな場合には、運動公園などにバスを使って移送することを考えている。

問 避難所に企業などの方がまとまって避難された。そういった企業と災害避難所協力運営協定を結び協力してもらっているか。

危機管理監 企業の方々が地域の避難者の方と共に避難所の運営などを協力して一緒に行っていくことは効果的だと考える。協定締結が可能かどうか、企業と話をしながら調査研究していきたい。

問 夏休みなど、子どもたちだけで避難は心配だ。7月30日の津波警報があったとき、子どもたちはどのような行動をしていたか検証すべきと考えるがどうか。

教育長 早速、子どもたちから情報を聞き取りたい。





なかじま かずと
中島一都 議員

問 小中学校の熱中症予防対策は

答 水分補給や休憩時間の確保、屋外活動の制限を徹底している

問 今年度、学校生活において熱中症または熱中症が疑われた児童生徒の人数は。

教育次長兼課長 熱中症と診断され学校に報告があったのは、小学校で1件、中学校で1件の合計2件。また、熱中症の疑いがあり保健室を利用したケースは、小学校で5件、中学校で12件の合計17件あった。いずれも救急搬送されるような事態には至っていない。

問 登下校時や学校生活において、現在の熱中症予防対策の取り組みは。

教育次長兼課長 登下校時の対策として、中学校は本年度から運動着での登下校を認めたほか、衣替えを廃止するなど気温に応じて柔軟な対応をとっている。また、第一小学校においては、登校距離の長い児童が多く、夏場はリュックサック等での登下校を認めている。学校生活では、水分補給や休憩時間の確保、屋外活動の制限などを徹底し、予防に取り組んでいる。



問 第二小学校や第五小学校においても長時間のバス待ちや日陰が少ない通学路を利用しているケースも考えられるが、今後同様の対策をする考えは。

教育次長兼課長 第一小学校の対策を校長会で情報共有しており、効果的な取り組みについては、各学校に横展開することは有効であると考えている。

問 暑さ指数(WBGT)計の設置状況や運動実施可否判断基準、保護者への通知方法など本町の小中学校における熱中症ガイドラインの作成状況は。

教育次長兼課長 県教育委員会作成のガイドラインを基本とし、それとは別に松島町教育委員会が策定した熱中症予防指針に基づき運用している。また、各学校に暑さ指数計を配備し、基準に基づいた運動制限を行うとともに、児童生徒には年間を通して熱中症予防に対する指導を行っているほか、保健だよりなどを通じて保護者への周知にも取り組んでいる。



中学校体育館に設置されている暑さ指数計

問 学校の暑さ対策として普通教室や一部の特別教室は空調設備の整備が進んでいるが、今後の設置予定は。

教育長 国の補助制度の動向を踏まえ、整備時期などを検討していく。

問 更なる熱中症予防対策として、委員会や生徒会活動等で暑さ指数の計測や活動判断、お互いの体調を確認し合うなど、児童生徒が自ら子ども目線で取り組める指導も有効だが町の考えは。

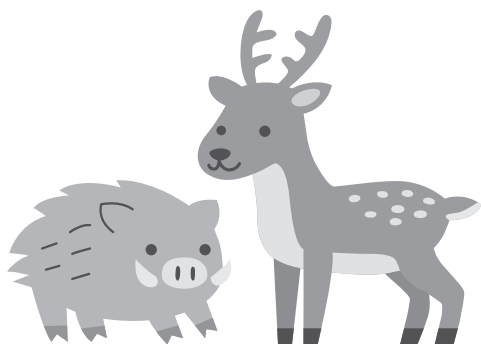
教育長 生徒会の役員は非常に前向きな子どもたちが多く、何か良い方法が子どもたちから生まれ、子ども同士で危険を予知するといふような取り組みができないか、校長と相談する。



あか ま ゆ き お
赤間幸夫 議員

問 有害鳥獣（主にイノシシやシカ）対策について

答 関係機関と連携し被害防止に努める



問 イノシシの繁殖力と被害拡大防止の観点を考慮して、鳥獣被害防止総合対策交付金などを活用したさらなる取り組みは。

産業観光課長 交付金は、鳥獣被害対策実施隊の活動に充てている。現地調査や箱わなの見回りの出勤回数も増加しており、県に取り組み拡充のために交付金の増額要望をしていきたい。

問 有害鳥獣に対応するため、県や鳥獣被害対策実施隊などの関連機関との連携は。

町長 出没が多い箇所には、鳥獣被害対策実施隊に連絡を行い、町職員が箱わなの移動運搬、センサーカメラの設置、確認等、捕獲サポートを実施している。今後も関係機関と連携しながら被害防止に努めていく。

問 生活道路（建築基準法第42条2項道路） に関して 指定道路情報図台帳として 位置等を把握している

問 行政区域内における2項道路の形態は、どのようなものがあるのか。また、こうした道路の台帳の整備や備えは。

企画調整課長 大別して10種類の道路があり、仙台土木事務所より提供を受け、指定道路情報図台帳として位置等を把握している。町は、副本として企画調整課窓口へ備え付け、県からの通知により随時更新している。

問 建築確認申請先である仙台土木事務所と町の相談対応の窓口関係は。

副町長 事前相談に來たときは、企画調整課が窓口として対応を行い、県からの情報と合わせ一般住民には対応している。

問 関係住民に対する説明の在り方は。

副町長 関係住民から要望があれば、説明対応をしていく。

問 2項道路の復元立会いの在り方は。

※2項道路（みなし道路）…建築基準法の集団規定が適用された時、すでに建築物が建ち並んでいた幅員4m（6m）未満の道で、特定行政庁が指定したもの。

副町長 確認申請書で許可を出す仙台土木事務所が、現地確認を行い、町の所管財産が関係すれば、担当課が同席する。なお、宅地とセットバック敷が分筆されていれば、非課税財産になる。

一部事務組合議会報告

塩釜地区消防事務組合

令和7年第2回定例会
令和7年7月14日(月)

議案の審査状況

- ・ 職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- ・ 財産取得について(高規格救急自動車)

以上全員賛成・可決

- ① 火災件数 (管内) 17件 (前年比9件減)
- ② 救急出場件数 4,288件 (前年比186件増)

※以上、令和7年1月～5月末

- ③ 要介護認定審査判定数 審査回数45回、1,339件

- ④ 障害支援区分判定件数 審査回数4回、47件

- ⑤ し尿及び浄化槽汚泥搬入量 1,217トン (前年比60トン減)

- ⑥ 塩釜地区りふ斎場の利用実績 453件 (前年比30件増)

※以上、令和7年4月～令和7年5月

宮城東部衛生処理組合

令和7年第2回定例会
令和7年7月28日(月)

行政報告

- ① ごみの搬入状況

※令和6年度
管内4万3,961トン (前年比607トン減)
松島町分5,636トン (前年比373トン減)

※令和7年4月～6月末
管内1万1,256トン (前年比446トン減)
松島町分1,396トン (前年比106トン減)

- ② 焼却灰、排ガス中の放射性物質濃度及び埋立地浸出水処理水、地下水放射性物質濃度、各施設敷地空間放射線量の測定結果は、いずれも目安や基準の範囲内。

議案の審査状況

- ① ごみ請負契約の締結について

原案のとおり可決

赤岡 幸夫議員
高橋 幸彦議員

宮城県後期高齢者医療広域連合

令和7年第2回定例会
令和7年8月20日(水)

議案の審査状況

- ① 専決処分の承認を求めることについて(職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)
- ② 令和7年度宮城県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

承認

桜井ていこ議員

- ③ 職員に関する条例の一部を改正する条例

承認

- ④ 令和6年度宮城県後期高齢者医療広域連合一般会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算の認定について

賛成多数・原案可決

賛成多数・原案可決

吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合

令和7年第1回定例会
令和7年7月29日(火)

議案の審査状況

- ① 令和6年度吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出決算の認定について

原案のとおり可決

- ② 令和7年度吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合会計歳入歳出予算について

原案のとおり可決

高橋 利典議員

議会報告会を開催しました

ご参加ありがとうございました

令和7年度議会報告会を開催しました。全地区あわせて172名の方にご参加いただきました。議員一同、心から感謝いたします。また、各行政区からの要望や提言は、これらを整理し、町に提出いたします。

— 報告事項 —

・令和7年第1回松島町議会定例会の議案審議について

— 班体制 —

第1班

班長 片山正弘
櫻井靖・中島一都・高橋幸彦
・高橋利典

第2班

班長 赤間幸夫
菅野隆二・後藤良郎・色川晴夫
・桜井ていこ

第3班

班長 阿部幸夫
米川修司・今野章・小澤陽子

— 行政区および実施日 —

() 内は参加者数

第1班

・本郷区 (11名)
令和7年7月5日 (土)
・手樽区 (11名)
令和7年7月6日 (日)
・松島区 (13名)
令和7年7月17日 (木)
・桜渡戸区 (12名)
令和7年7月27日 (日)

第2班

・高城区 (19名)
令和7年7月4日 (金)
・北小泉区 (12名)
令和7年7月5日 (土)
・下竹谷区 (14名)
令和7年7月13日 (日)
・幡谷区 (17名)
令和7年7月27日 (日)

第3班

・初原区 (9名)
令和7年7月6日 (日)
・根廻区 (8名)
令和7年7月6日 (日)
・磯崎区 (33名)
令和7年7月12日 (土)
・上竹谷区 (13名)
令和7年7月27日 (日)

各行政区からの

要望・提言 (抜粋)

- ・議会報告会のあり方を検討してはどうか。
- ・クマに遭遇した際の対処法について周知してほしい。
- ・イノシシ等の有害鳥獣による被害対策を強化してほしい。
- ・ふるさと納税にもっと力を入れてほしい。
- ・行政員などのなり手が高齢化し不足している。
- ・高齢化により地域での草刈りが難しくなってきた。
- ・行政区の区割りも含め、あり方を検討してほしい。
- ・道路の拡張や管理の徹底を。
- ・带状疱疹のワクチン接種をもっと充実させてほしい。
- ・側溝の清掃をしてほしい。
- ・災害対策について、備蓄品の管理を徹底してほしい。
- ・もっと町民の声を聞く場を設けてほしい。

その他



第1班



第2班



第3班

議会報告会の様子

総務経済常任委員会

教育民生常任委員会



総務経済常任委員会

調査事件
体験交流による地域活性化について

調査の概要

人口減少や地域経済の停滞に直面する中、地域の持続的な活性化には町外との関係構築や地域資源の価値再認識が重要である。特に、住民や観光客などとの「体験交流」は、地域の魅力を伝える有効な手段であり、住民参加や関係人口の創出を促す取り組みとして注目されている。この調査により、体験交流が地域社会に与える効果や課題を明らかにし、我が町が持続可能な交流施策を展開するための、地域の魅力や課題を客観的に捉え直す。さらに、住民の能動的な参画や交流による新たな価値創出を促す契機としたい。加えて、我が町が主導して体験交流を地域振興施策に組み込むことで、人口減少・地域

経済の課題に対応する戦略的な展開が期待できる。

調査の内容

- 山梨県小菅村における関係人口を生む仕組みと地域参画について
- 長野県塩尻市における空き家対策と第三セクターの実践について
- 宮城県東松島市における地域巻き込み型の実態調査と相談体制について
- 京都府京丹後市における財源確保と関係人口創出のスキーム化について
- 福井県鯖江市におけるアートキャンプを核とした地域文化振興について

まとめ

当委員会は「体験交流による地域活性化について」をテーマに調査を実施した。体験交流を核とした地域振興施策を戦略的に展開することで、人口減少への対応と地域経

済の活性化を図ることを目的とした。併せて、空き家対策や財源確保、若者参画など多角的な施策を組み合わせることで、持続可能な地域社会の構築も目指している。今回の調査では、規模・地理・課題が異なる自治体それぞれの特徴を活かし、地域資源の再定義と住民との協働を通じた地域活性化に成功していることを実感した。空き家を単なる課題ではなく「地域資源」としてとらえ、政策の軸として再設計する発想が今後の鍵となる。また、関係人口や交流人口の拡大は、制度設計よりも住民との信頼関係や感性によって実現するものだと再確認できた。我が町でも、住民・民間・若者・行政がそれぞれ役割を持ちつつ支え合う体制づくりが、持続可能な地域運営への礎となるはずだ。そこで町当局に対し次の項目について提言した。

- 体験交流による関係人口創出
- 空き家対策の強化と第三セクターの活用
- 財源確保と交流人口拡大の両立
- 若者参画による地域文化の再生
- 行政主導による戦略的展開
- 提言内容によって期待される効果
- 地域資源の再評価と魅力発信による交流人口の増加
- 空き家の利活用促進による定住支援と地域環境の改善
- 財源確保による地域事業者支援と雇用創出
- 若者参画による地域文化の再生と持続的な活力の創出
- 行政と住民の協働による地域課題への対応力向上など

この調査報告に基づき、モデル事業の実施と効果検証を行い、段階的に施策を拡充させ、地域住民・関係人口・事業

常任委員会報告

者・教育機関など多様な主体との連携を深めながら、体験交流を核とした我が町独自の持続可能な地域活性化モデルの確立を求める。



教育民生常任委員会



総務経済常任委員会

教育民生常任委員会

所管事務調査報告

調査事件 子育て支援の充実につ いて

調査の概要

令和7年度より松島町子ども・子育て支援事業計画(第三期)がスタートしたが、児童公園や児童館をあらためて現地調査し、子育てしやすいまちづくりを進める他町を現地視察することで、本町の子育て支援がより充実すべく、調査を実施した。

現地調査

本郷ふれあい児童公園、華園児童公園、城内児童公園、くぬぎ台児童公園及び松島町児童館

現地視察

・ 利府町中央児童センター
「べあくる」
・ 神奈川県葉山町、大磯町、箱根町

まとめ

はじめに、本町の児童館について、地域ごとに整備されていないものの、児童館を安心できる居場所の一つとして利用するため、継続して職員は子どもに寄り添い支援して欲しい。留守家庭児童学級は、4年生以上の子どもが引き続き利用できるよう、旧母子健康センターの大規模修繕を視野に入れつつ、受入れ場所を確保するよう早急に検討されたい。

次に、本町の児童公園は、遊具の定期点検により安全確保や、修繕しているが、設置当時と現在を比べると、地域の状況が変化しているの所以在り方を検討されたい。子どもの居場所づくりに関しては、町民の意見を取り入れながら、雨の日でも遊べる場所や、障害の有無に関係なく利用できる遊具(インクルーシブ遊具)を導入する等導入が望ましい。必要に応じて

地域住民の協力を仰ぎながら、草刈り作業等を定期的に引っってもらいたい。

また、本町のこども家庭センターは、母子保健事業は「どんぐり」、町民福祉課こども支援班の児童福祉事業と連携強化をしているが、町民の利便性を一番に母子保健と児童福祉の相談窓口を一本化することを検討されたい。

最後に、「こどもまんなか社会」とは、子どもの利益を最優先に考えた取り組みや政策を国の中心に据える社会目標のことであるが、この趣旨に賛同する個人、団体・企業、自治体等が「こどもまんなか応援サポーター」として、様々なアクションに取り組んでいく。特に箱根町の「子育てシェアタウン推進事業」は、地域住民が世代を超えて互いの顔が見られる関係づくり、子育ての分野に止まらない地域共生の推進といった観点から、先進的かつ実践的な取り組みといえる。本

町においても、子育て支援の更なる充実に向けて、子育て世帯の孤立を防止し、親子が地域住民や団体・企業・自治体等とつながる仕組みづくりが望まれる。

行政視察研修報告

調査期日

令和7年7月9日～11日

調査場所①

神奈川県葉山町

調査の内容

・ 地域ごとの児童館設置の経緯について
・ 子育て支援センター「ポケット」の取り組みについて

まとめ

我が町にももっと前から多くの児童館があれば定住につながり人口減少が緩やかになったのかもしれないと感じた。また、「葉みんぐ」の冊子の創刊や、LINE等の情報発信に費用をかけない工夫が良いと感じた。最後

に子ども医療費助成事業では、年々子どもの数が減っているにも関わらず、負担増の原因を追求した上で子どもを取り巻く環境の整備の必要性を感じた。

調査場所②

神奈川県大磯町

調査の内容

・ 朝の子どもの居場所づくりについて
・ 公園のリニューアルについて

まとめ

朝の見守りの事業は当町でも新たな取り組みの必要性を感じた。公園の遊具の選定については、住民の声を取り上げて遊具の複合化・遊具のインクルーシブ化・公園の施設の更新化を図っている。当町でも遊具の老朽化が見られる。再整備の際には町民の意見を取り入れた整備を望む。

調査場所③

神奈川県箱根町

調査の内容

・ 子育てシェアタウンについて
・ 子育て支援アドバイザーについて

まとめ

子育てシェアタウン推進事業は子育ての分野にとどまらない地域共生の観点からも非常に優れた取り組みであると感じた。また、シェアコンシェルジュが企画するイベント等での交流を通して、顔の見える関係性づくりも図られていた。

窓口のワンストップにより「町民がどこに相談すればよいのか迷う」という課題を軽減しており、新たな取り組みは、子どもの育ちを総合的に支える非常に重要なものと感じた。本町も箱根町のように行政、住民、企業が一体となり、地域全体で子育てを支える仕組みを構築することが必要だと改めて感じた。

次回

第4回 定例会

12月15日(月)

開会予定

- ▶ 傍聴は役場庁舎1階の「町民の部屋」でも視聴できます
- ▶ 議場で傍聴される方は住所と氏名の記入をお願いします

議会情報はここからどうぞ

松島町議会
ホームページ

こちらから



まつしま議会だより
バックナンバー

こちらから



広報広聴常任委員会広報分科会

（広報広聴常任委員会委員長 今野 章）

さて、お届けする「議会だより」は、今任期中、最後の号となります。デジタル時代に対応した編集も取り入れましたが、議会の模様は伝わったでしょうか。引き続きのご愛読をお願いします。



町民インタビュー

松島中学校3年生

柔道 笠原 由 麻さん(左)
水泳 遊 佐 颯 太さん(右)



競技を始めた時期やきっかけを教えてください。

笠原さん

両親が柔道をやっていて、父が大会で活躍する姿がカッコよくて幼稚園の時から始めました。

遊佐さん

母が水泳をやっていて、母の勧めで幼稚園の時から始めました。

これからの夢や目標はありますか？

笠原さん

高校のインターハイでベスト4以内を目指します。

遊佐さん

高校で個人種目、リレー両方でインターハイ出場を目指します。

松島町のどんなところが好きですか？

笠原さん

景色が良く、おしゃれなカフェもあるところ。住んでる人も挨拶をしてくれたりとても過ごしやすい町です。

遊佐さん

日本三景で自然がとてもきれい。住んでる人もあたたかくていい人が多い町です。

編集後記

「松島」と言えば自然が織りなす景観美。湾を囲む四大観、「壮観の大高森」「麗観の富山」「幽観の扇谷」「偉観の多聞山」からの眺めは、時間とともに変化する景観が楽しめ、穏やかな心にしてくれます。「松島」を訪れる人々にはぜひ、せわしい時間から抜け出し、ゆったりと変化していく「松島の一日」「平和な一日」を楽しみ、身も心も癒していただきたいものです。